

令和 7 (2025) 年度 東京都中学校体育連盟 第 1 1 ブロック中学校 秋季剣道大会新人大会 男女別団体戦・男女別個人戦

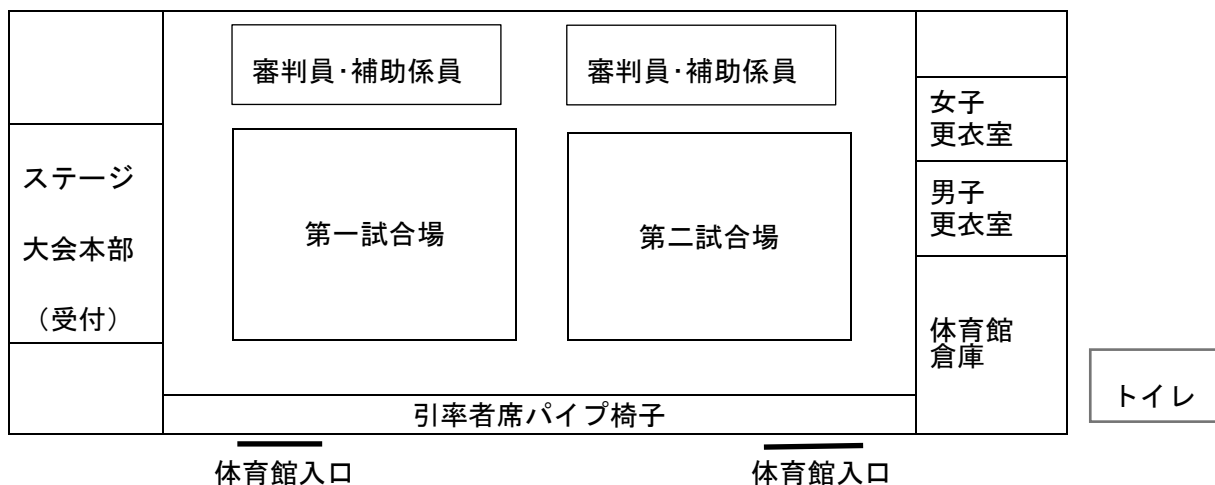
兼 東京都中学校秋季剣道大会新人大会20251102 (男女別団体戦) 予選会

令和 7 (2025) 年 1 0 月 1 2 日 (日) 東大和市立第二中学校体育館

東大和市南街3-60-4 ☎042-561-2328 担当 亀澤祐浩

8 : 0 0 開館
8 : 3 0 受付開始 (体育館ステージ本部)
審判員・顧問打合せ
9 : 0 0 諸連絡
開会式
試合開始 (9 : 3 0 予定)
男女団体戦同時進行 → 昼休憩 → 男女個人戦同時進行
試合終了 (1 5 : 3 0 見込)
閉会式 (1 6 : 0 0 見込)
1 6 : 3 0 片付け清掃・退館
1 7 : 0 0 役員係員解散・閉館

前日会場準備 1 0 月 1 1 日 (土)
1 5 : 0 0 ~
東大和市の中学校生徒、
大会役員



- ・ 東京都中学校体育連盟の公式大会です。
- ・ 会場校到着後、体育館西側(校庭の逆側)より入館してください。
- ・ 更衣室等で更衣、荷物は更衣室または体育館倉庫に置くこと。会場が狭いのでお互いに気遣って気持ちよく使用できるようにご協力ください。トイレは、体育館を出て、外履きで、後方の外トイレを使用して下さい。
- ・ 団体戦メンバー表 (模造紙縦置きで横 4 分の 1 (女子は支部名の下に赤ライン加筆))
個人戦名表 (A 4 縦置きで縦 2 分の 1 (女子は学校名の下に赤ライン加筆)) を、受付へ提出して下さい。
- ・ 紅白目印(襷)、名札(ゼッケン、「中」の文字入り)、「マウスシールド(一体型可)」か「面マスク」のどちらかを必須、アイガードは任意とする。
- ・ 団体戦個人戦ともに 0 8 : 3 0 より受付します。
- ・ 感染拡大防止に引き続きご協力ください。
- ・ 本大会の、男子団体戦上位 3 チームと女子団体戦上位 2 チームを都大会本戦に 1 1 ブロックから推薦します。
なお男女それぞれにおいて最上位チームに都大会本戦抽選時の位置シードが与えられます。
- ・ 都大会本戦は団体戦のみで個人戦は行われません。個人戦はブロック大会だけでの実施です。
- ・ 都大会本戦抽選会は 1 0 月 2 1 日 (火) のため、都大会本戦出場チームは、2 0 日 (月) までに、各支部専門委員かブロック責任者まで申込書参加費等を提出すること。都大会本戦の申込書等を事前に作成、持参し、本ブロック大会閉会式後に提出でも可。

整列、竹刀及びサポーターチェック 試合具確認、諸注意	
開会式	司会 本多 華子
開式	
来賓挨拶	
優勝旗返還	男子団体：武蔵野大学中 女子団体：日体大桜華中
大会実行委員挨拶	亀澤 祐浩
審判長説示	谷澤 洋一
選手宣誓	大西 舞歩（東大和二中）

整列	
閉会式	司会 本多 華子
成績発表	石川 大翔
（優勝・準優勝・第三位・都大会出場権獲得）	
表彰	
講評	谷澤 洋一
閉式	

1. 主催 東京都中学校体育連盟第11ブロック
 主管 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校剣道部

2. 運営組織
- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 大会役員 | 会長 小川 高弘（東久留米西中・東京都中学校体育連盟会長） | |
| 副理事長 | 萩原 聡明（東村山二中） | |
| 11ブロック長 | 堀内 雅之（清瀬二中） | |
| 各支部長 | 萩原 聡明（東村山二中） | 佐久間 豊（青嵐中） |
| | 立川 裕（東大和四中） | 堀内 雅之（清瀬二中） |
| | 木下 信久（久留米中） | 大野 博史（武蔵村山五中） |
| 剣道部長 | 木村 孝治（大坂上中・東京都中学校体育連盟剣道部長） | |
| 副部長 | 岩澤 剛（保谷中） | |
| 常任委員 | 谷澤 洋一（武蔵野大学中） | 本多 華子（明保中） |
| | 亀澤 祐浩（東大和二中） | |
| 第11ブロック剣道競技責任者 | 亀澤 祐浩（東大和二中） | |
| 各支部剣道競技専門委員 | 本多 華子（明保中） | 古賀 彩乃（東村山四中） |
| | 石川 大翔（武蔵村山一中） | 亀澤 祐浩（東大和二中） |
| 係役員 | 救護 佐藤 倫子（明治学院中） | 古賀 彩乃（東村山四中） |
| | 会計 石川 大翔（武蔵村山一中） | |
| | 記録 石川 大翔（武蔵村山一中） | 古賀 彩乃（東村山四中） |
| | 櫻井 直子（明保中） | |
| 賞状・賞品・獲得証 | 石川 大翔（武蔵村山一中） | |
| お昼手配 | 石川 大翔（武蔵村山一中） | 真野 啓之（自由学園中） |
| 会場準備 | 亀澤 祐浩（東大和二中） | 係生徒 |
| 本部・会場 | 大島 清和（東大和二中校長） | 亀澤 祐浩（東大和二中） |
| 補助係員（試合会場） | 武蔵野大学高 | 自由学園高 |
| 係生徒（前日会場設営） | 東大和二中、東大和四中、東大和五中 | |
| ※片付け | 大会終了後、大会役員・係役員・補助係員・係生徒の全員で行う | |
| 審判長 | 谷澤 洋一（武蔵野大学中） | |
| 審判主任・審判員 | | |

10月12日（日） 男女別団体戦・男女別個人戦 東大和二中会場

	第一試合場	第二試合場
審判主任	富田 孔明（日体大桜華中）	本多 華子（明保中）
審判員	中西光一郎（明治学院中）	下村 聖二（武蔵野大学中）
	小高 数真（東村山剣連）	小野 高由（東村山剣連）
	酒井 政輝（東村山剣連）	山崎 智裕（東村山剣連）
	池田 貢（東村山高）	宮崎 茂樹（中体連OB）
	大橋 慧介（東大和剣連）	榎永裕一朗（東大和剣連）
	・谷澤 洋一（武蔵野大学中）	今井 愛子（高体連OB）PM
		・亀澤 祐浩（東大和二中）
補助係員	武蔵野大学高 8 名	自由学園高 4 名
係役員		真野 啓之（自由学園中）

※自校生徒選手の試合については主審を行わない

3. 方法

・新入大会のため中学1・2年生(該当学年)のみの参加とする。

- ①オープン参加による男女別の団体戦。予選リーグ・決勝トーナメント方式とする。
都大会出場決定戦を行う。
- ②オープン参加による男女別の個人戦。トーナメント方式とする。人数無制限のエントリーとする。
※都大会本戦には個人戦はなくブロック大会のみの個人戦である。全ての部員生徒に大会参加、試合出場の機会を提供することを主たる目的とする。

4. 構成

東京都中学校体育連盟に加盟し剣道競技を登録していること。

団体戦 : 監督1名、選手生徒名5名と補員生徒2名(計7名) 選手は3名4名でも可。

個人戦 : 監督1名、選手生徒

※団体戦個人戦ともに申込時に届けた監督補佐1名を認める。

※個人戦のみの参加校において、自校の顧問が監督がつけない場合は、依頼された他校の顧問(校長・教員)または1ブロック剣道競技責任者による代理監督とする。

※団体戦は、「学校部活動単独校チーム」・「学校部活動拠点校チーム」・「行政主導地域クラブチーム」であること(合同チームは不可)。

5. 規則

- ①全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、同運営要領、及び、日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項・東京都中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項、関係機関等のガイドラインや通達、及び本大会申し合わせ事項による。顧問会議時と大会開式時に説明する。東京都中学校体育連盟剣道部では、主審の専決とされる事項(弦の指導、鐸競り合い、時間空費、危険のある行為、変形な構え、三所かくし等)について、副審からの中止要請、合議要請を認めている。
- ②・団体戦においては3分間三本勝負とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。
 - ・団体戦トーナメント戦では勝者数が多いチーム、勝者数が同じ場合は得本数が多いチームを勝ちとする。勝者数得本数も同じ場合は任意の選手による代表戦を行う(3分間一本勝負)。
 - ・団体戦リーグ戦の場合は、チーム戦で、勝者数が多いチーム、勝者数が同じ場合は得本数が多いチームを勝ち(勝ち1点)とし、勝者数得本数も同じ場合は引き分け(同0.5点)、負けは(同0点)とし、リーグ内のチームの勝ち点で、勝ち点と同じ場合は総勝者数で、総勝者数も同じ場合には総得本数により順位を決定する。勝ち点、総勝者数、総得本数が全て同じ場合は、任意の選手による代表戦(3分間一本勝負)にて決する。
 - ・個人戦は2分間一本勝負とする。
 - ・個人戦、団体戦代表戦で勝敗の決しない場合は、2分ごとに時間を区切り延長戦を行う。
 - ・個人戦の不戦勝は宣告を行う。団体戦の不戦勝は宣告を行わない。
- ③竹刀は長さ114cm以内、重さ男子440g・女子400g以上とする。先細竹刀や不正に細工したものは禁止する。柄革は滑り止め(ゴム等)や模様等の無い無地のもので白色とする。不正な竹刀を使用した場合は二本負けとする。事前に竹刀の手入れを行っておくこと。
- ④面紐の長さは結び目から40cm以内、目印の長さは70cm以内とし髪に隠れないようにすること。面乳革は大きさ、色、模様も含めて華美にならないようにし、黒色または紺色とする。黒塗りにした面金などではなく通常の配色の面を使用すること。
- ⑤足袋やサポーター、コルセット、テーピング等を使用する際は開式前に審判主任に申し出て許可を得ること。足袋やサポーター類については、滑り止めを目的とした革やゴム等を使用していないものとし、華美でないものとする。ただし、指先単独でのテーピングについては、申し出は不要とする。
- ⑥選手は黒または紺地に白字、白地に黒字で校名と姓を記した『名札』を着用し、名札には必ず『～中』の文字が入っていて一枚袋であること。名札のない選手、不備の選手(校名の縫いつけ、『～中』の文字がない等)は失格とする。大会までに間に合わない場合は事前に相談すること。
- ⑦ベンチ入りできる者は、監督・選手・補員・承認を受けた監督補佐のみとする。
- ⑧「安易に左拳を中心線から外す防御態勢(変形な構え等の防御態勢)」をとった場合は、一回目は合議の上「指導」、二回目以降は合議の上「反則」とする(公正を害する行為)。試合中の「かち上げ」「振り倒し」等の危険かつ見苦しい暴力的行為は慎むこと。
- ⑨試合者は鐸競り合いを避ける。やむを得ず鐸競り合いになったときは、ただちに引き技を出すか、速やかに剣先が離れるまで分かれることを心がけること。
- ⑩ベンチ内への時計やフロアへの撮影機器の持ち込み等は禁止する。
- ⑪登録オーダーの変更は、補員以外とはできない。組み替えも不可とする。一度退いた選手は、それ以降の試合には出場できない。
- ⑫3人でチーム編成する場合は「中・副・大」に、4人でチーム編成する場合は「次・中・副・大」とし、後ろ詰めにすること。大会当日選手の不参加により5人に満たなくなったチームは、選手の登録順は変えずに後ろに詰めること。この場合、当日メンバー表を新たに書き換えること。大会当日途中で怪我などより棄権になった場合も同様にする。大会当日団体戦において事情により三名に満たなくなった場合でも、チームの負けは確定しているが本大会申し合わせ事項により参考試合とし

て行う。

- ⑬ 3人チーム4人チームと対戦する場合は、自チームの不戦勝(二本勝ち)の者を任意に決め、残りの選手を登録順通りに後ろ詰めにして試合を行う。審判主任に確認すること。
- ⑭ 応援は拍手のみとする。
- ⑮ その他については当日開会式にて審判長もしくは大会実行委員より説明する。
- ⑯ 染症対策として、以下のような対応を予定する。変更や追加がある際には、各校に事前に周知し、ホームページ掲載、顧問会時と大会当日の開式時に説明する。
- (1) 男女同時に受付し、同時に開会する。男子試合場と女子試合場の二つの試合場で同時進行とする。
 - (2) 試合者はマウスシールド・面マスクのどちらかの装着を必須とする。一体型シールドは認める。
 - (3) 試合者のアイガードの装着は任意とする。
 - (4) 試合者の試合時以外については、面マスクの着用は任意(試合者個人及び保護者の判断)とする。
 - (5) 昼休憩を予定している。なるべく屋外での喫食をお願いする(天候による)。
 - (6) 見学応援については、顧問などの先生、引率者、試合に出ない剣道部員及び剣道部員の保護者、剣道指導者のみ(学校関係者のみ)とする。
 - (7) 審判時のマスクは着用せず、大会役員、審判時以外の審判員、係役員、補助係員、係生徒のマスクの着用は任意とする。
 - (9) 開会時に審判長より説明し反則行為の共通理解を図る。本大会においては選手への指導も兼ねて、審判が積極的に注意する。
 - (10) 会場校の負担軽減のため、個人で使用する消毒用品などは各校各自で持参すること。

6. 表彰

- ・団体優勝チームに持ち回り優勝旗 前季大会優勝：女子・日体大桜華中、男子・武蔵野大学中
- ・団体戦 優勝(賞状・賞品)、準優勝(賞状・賞品)、第三位(2チーム・賞状・賞品)、都大会出場権獲得証
- ・個人戦 優勝(賞状)、準優勝(賞状)、第三位(2名・賞状)

7. 大会当日各校で準備するもの

- (1) メンバー表
- (2) 紅白目印
- (3) 名札

田無一中 本多 華

(名札)

27
cm

西東京市	先	次	中	副	大
田無一中	古賀	本多華	石川	本多真	亀澤

(団体戦メンバー表)模造紙4分の1 79cm

- ・白模造紙 4分の1
- ・同姓の選手がいる場合は名前の一文字まで
- ・女子は支部名の下に赤アンダーラインを引く

1

佐藤

明治学院中

- ・白A4用紙縦2分の1
- ・同姓の選手がいる場合は名前の一文字まで
- ・上部にトーナメントの選手番号を記入
- ・女子は支部名の下に赤アンダーラインを引く

8. 注意

- ・会場内フロアからの撮影は禁止する。二階ギャラリー観覧席からの撮影は禁止しないがSNS等への掲載は禁止する。
- ・学校で認められた成人が引率し、受付を行ってください。
- ・会場内で、試合待機中においては、態度が乱れぬよう各校で自覚すること。会場校に迷惑がかけないようにすること。
- ・ビン、缶、ガムや菓子類の持ち込みは禁止する。違反した場合は失格の場合もある。保護者からの差し入れなども同様とする(自粛すること)。
- ・外履きは各自で靴袋などに入れ、防具袋やカバンなどに保管すること。屋内でのキャスターの使用は禁止する。雨天の場合の傘についても同様に袋に入れること。整理整頓を心掛けること。
- ・貴重品は各自(各校)で管理し責任を持つこと。
- ・審判員は全剣連指定の服装(紺ブレザー・白ワイシャツ・えんじネクタイ・グレースボン・紺靴下、女性審判員もこれに準じた服装)を着用すること。監督・監督補佐もこれに準じた服装とする。
- ・選手及び補員生徒、監督、承認を受けた監督補佐、引率者、顧問、見学応援の剣道部員生徒、生徒保護者、大会役員、審判員、係役員の先生、補助係員、係生徒、剣道部活動指導者のみ入場を認めます。
- ・保護者の自動車での来校は控え、近隣のコインパーキング等を利用すること。
- ・公共交通機関、特に路線バスを利用する際は節度を持った行動を心掛けること。
- ・大会当日の体調不良等による欠席の場合は、受付時間に連絡をお願いします。

以上

令和7(2025)年度 東京都第11ブロック中学校秋季剣道大会新人大会 女子団体戦

トーナメント表等の数字は試合番号(試合場ー試合順)をあらわす
 試合場を移動しても試合番号は変えないこと
 チーム番号が小さい方が赤(主審の右側)
 大きい方が白(主審の左側)

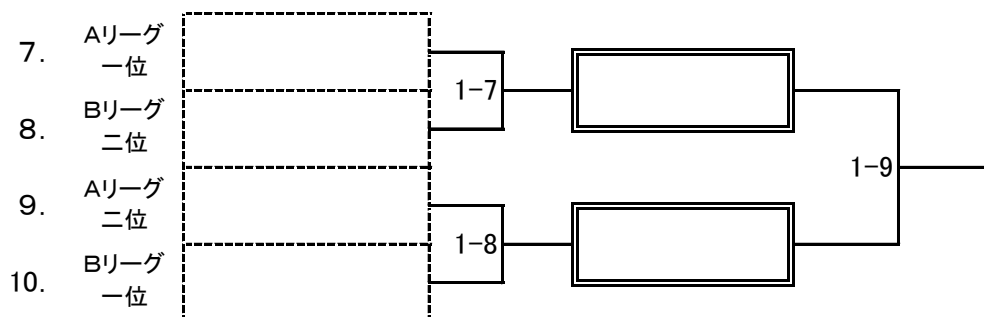
二重線枠が都大会出場校

Aリーグ	予選リーグ	明治学院	武村一	明保		勝ち点	勝者数	得本数		順位
1.	明治学院中	—	—	—	—					
2.	武蔵村山一中 ④	—	—	—	—					
3.	明保中 ④	—	—	—	—					
		—	—	—	—					

Bリーグ	予選リーグ	東村山四	武蔵野大	田無一		勝ち点	勝者数	得本数		順位
4.	東村山四中	—	—	—	—					
5.	武蔵野大学中	—	—	—	—					
6.	田無一中 ③	—	—	—	—					
		—	—	—	—					

試合番号(試合場ー試合順) リーグ

1-1	A	赤	明治学院中	—	白	明保中
1-2	B		東村山四中	—		田無一中
1-3	A		武蔵村山一中	—		明保中
1-4	B		武蔵野大学中	—		田無一中
1-5	A		武蔵村山一中	—		明治学院中
1-6	B		武蔵野大学中	—		東村山四中



トーナメント
 3(7) 2(4)代 1(3)代延
 勝者数(得本数)

リーグ



-5-

7 得本数
 3 勝者数

令和7(2025)年度 東京都第11ブロック中学校秋季剣道大会新人大会 男子団体戦

トーナメント表等の数字は試合番号(試合場ー試合順)をあらわす
 試合場を移動しても試合番号は変えないこと
 チーム番号が小さい方が赤(主審の右側)
 大きい方が白(主審の左側)

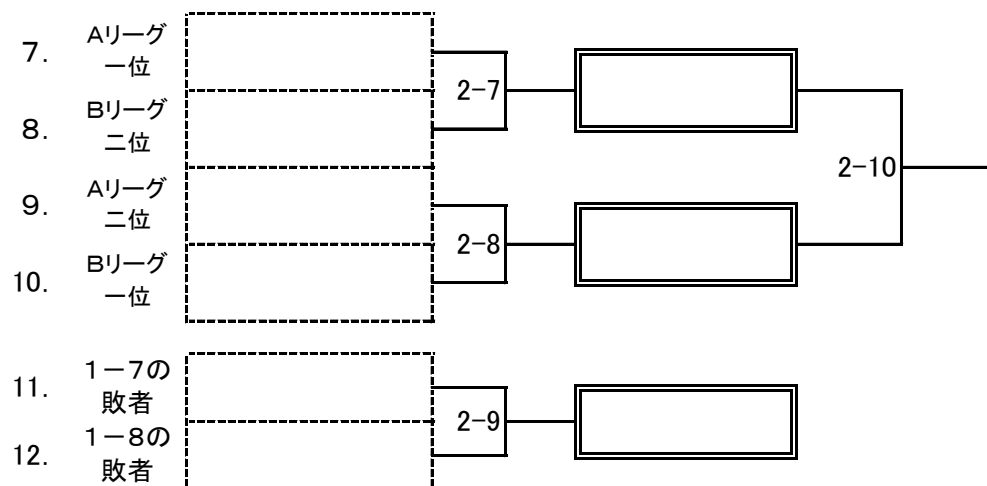
二重線枠が都大会出場校

Aリーグ	予選リーグ	自由学園	明保	武村一		勝ち点	勝者数	得本数		順位
1.	自由学園中	—	—	—	—					
2.	明保中	—	—	—	—					
3.	武蔵村山一中 ④	—	—	—	—					
		—	—	—	—					
Bリーグ	予選リーグ	東大和二	明学	田無一		勝ち点	勝者数	得本数		順位
4.	東大和二中	—	—	—	—					
5.	明治学院中	—	—	—	—					
6.	田無一中 ③	—	—	—	—					
		—	—	—	—					

試合番号(試合場ー試合順) リーグ

2-1 A
 2-2 B
 2-3 A
 2-4 B
 2-5 A
 2-6 B

赤 白
 自由学園中 — 武蔵村山一中
 東大和二中 — 田無一中
 明保中 — 武蔵村山一中
 明治学院中 — 田無一中
 明保中 — 自由学園中
 明治学院中 — 東大和二中



トーナメント
 3(7) 2(4)代 1(3)代延
 勝者数(得本数)

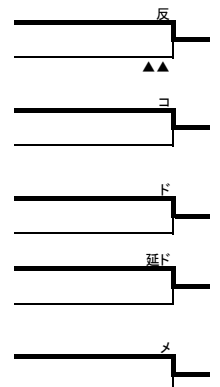
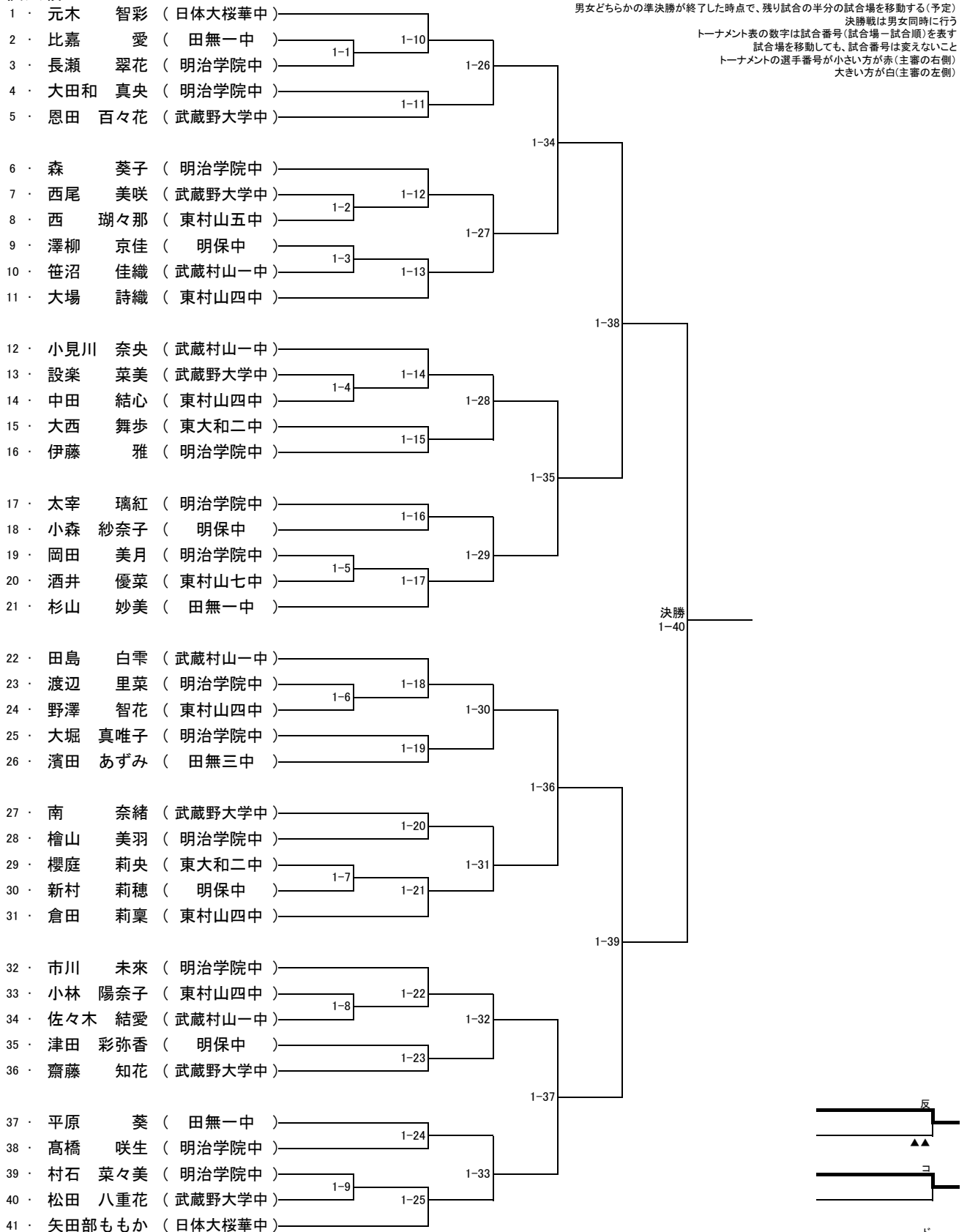
リーグ



-6-

7 得本数
 3 勝者数

令和7(2025)年度 東京都第11ブロック中学校秋季剣道大会新人大会 女子個人戦
女子個人戦



令和7(2025)年度 東京都第11ブロック中学校秋季剣道大会新人大会 男子個人戦

男子個人戦

男女どちらかの準決勝が終了した時点で、残り試合の半分の試合場を移動する(予定)
 決勝戦は男女同時に行う
 トーナメント表の数字は試合番号(試合場-試合順)を表す
 試合場を移動しても、試合番号は変えないこと
 トーナメントの選手番号が小さい方が赤(主審の右側)
 大きい方が白(主審の左側)

